

補聴器の購入は慎重に！

全国の消費生活センターには、「勧誘され購入したが医師に不要と言われた」「試用なしで購入したが音がうるさい」等の補聴器に関する相談が寄せられています。

特に、通信販売でのトラブルの割合が増加しており、「使用してみて合わないが返品できない」「返品したいが電話が繋がらない」等の相談がみられ、注意が必要です。

事例をご紹介します。

- ・ 眼鏡店で受けた聴力測定結果から「早めに補聴器をつけないと認知症になりやすい」と言われ、約 40 万円でその場で購入した。しかし後日、専門医に測定してもらうと、補聴器は必要ないと言われた。
- ・ 新聞広告をみて補聴器を注文した。商品到着後、装着したが雑音がするため長い時間使用できない。説明書をみながら調整してみたが変わらない。記憶では、返品することもできると説明されたので、返品したい。業者の返品専用窓口に電話したが、混み合っているというアナウンスが流れ、繋がらない。

補聴器を購入する前には、自分の「聞こえ」の状態や補聴器が必要か等について、まずは専門医の診断を受けましょう。

補聴器は、購入前・購入後の聞こえの調整や、定期的な清掃などのアフターケアが重要であるため、専門性があり、メンテナンス体制の整った販売店で購入することが大切です。

「聞こえ」が十分でない高齢者は、販売員とのコミュニケーションが難しい場合があります。購入時には、家族などの周りの人にサポートを求めましょう。

通信販売を利用する際は、購入後のお試し期間の有無、返品条件などを確認し、慎重に判断しましょう。

困ったときは、お住まいの自治体の消費生活相談窓口にご相談ください(全国共通の電話番号「消費者ホットライン」188)。

(参考:国民生活センターHP)